解答例

適性検査 |

1 100点

〔問題1〕 10点

思わぬ世界

〔問題2〕 30点

大人になる前に興味や関心をもったことを研究の対象にし、 大人になってもなおぎ問をもち続け、問い直している点。

〔問題3〕 60点

(省略)

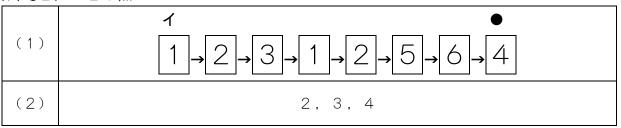
適性検査 ||

1 40点

[問題1] 20点

	2 0 ////							
(1)	4.06 cm							
(2)	〔直角三角形〕 20 個 〔正三角形〕 10 個 〔円〕 7 個							
	〔説明〕							
	1本のモールは、直角三角形を6個、正三角形を3個作るように切る。							
	1本のモールは、直角三角形を6個、正三角形を2個、円を1個作る							
	ように切る。							
	1本のモールは、直角三角形を6個、正三角形を1個、円を2個作る							
	ように切る。							
	1本のモールは、直角三角形を2個、正三角形を4個、円を4個作る							
	ように切る。							

[問題2] 20点



2 30点

〔問題1〕 15点

[サケのルイベ]

サケのルイベに「雪にうめて、こおらせる」という保ぞん方法が用いられているのは、小たる市の冬の平均気温がO度以下だから。

[マアジのひもの]

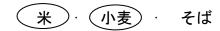
マアジのひものに「日光に当ててほす」という保ぞん方法が用いられているのは、 小田原市の冬のこう水量が夏に比べて少なく、日光に当てることができたから。

[ブリのかぶらずし]

ブリのかぶらずしに「あま酒につけて、発こうをうながす」という保ぞん方法が 用いられているのは、金沢市の冬はこう水量が多く、空気がしめっており、発こ うが進む気温だから。

[問題2] 15点

(選んだ二つを○で囲みなさい。)



米がとれる地いきと小麦がとれる地いきの年平均気温と年間こう水量をそれぞれ比べると、米がとれる地いきの年平均気温は高く、年間こう水量は多いが、小麦がとれる地いきの年平均気温は低く、年間こう水量は少ない。

3 30点

〔問題1〕 14点

- (1)〔選んだもの〕 ウ
 - 〔理由〕 実験1から、色がついているよごれを最もよく落とすのは、アとウであることが分かる。そして、実験2から、アとウを比べると、ウの方がより多くでんぷんのつぶを減少させることが分かるから。
- (2) 5分後のつぶの数をもとにした、減少したつぶの数のわり合は、水だけの 場合よりも液体ウの場合の方が大きいから。

[問題2] 16点

- (1) せんざいの量を28てきより多くしても、かんそうさせた後のふきんの重さは減少しないので、落とすことができる油の量は増加していないと分かるから。
- (2) 〔サラダ油が見えなくなるもの〕 A B C D

(洗剤) 4 滴

適性検査||

1 50点

〔問題1〕 15点

24.6%

〔問題2〕 15点

- ·厚さ3cmの本5さつ、厚さ4cmの本1さつ、厚さ11cmの本1さつ
- ·厚さ3cmの本1さつ、厚さ4cmの本4さつ、厚さ11cmの本1さつ

[問題3] 20点

	カウンター1		カウンター2		カウンター3		
午前10時から	А	さん	С	さん	E	さん	
午前10時半	A	3 /	4 2 1		3 10		3 10
午前10時半から	С	さん	٨	さん	В	さん	
午前11時	C	3 /	A	3 10	D	3 10	
午前11時から	D	さん	E	さん	В	さん	
午前11時半	D	3 /	L	3 10	Б	3 10	
午前11時半から	D	さん	С	さん	F	さん	
正午	D	3 N		3 10		3 10	

2 50点

〔問題1〕 15点

タンパク質をとった割合がおよそ(2)ポイント(増加し・減少し)、

脂質をとった割合がおよそ(13)ポイント (増加し・減少し)、

炭水化物をとった割合がおよそ(15)ポイント(増加した(減少した)。

〔問題2〕 15点

前 [2·7]:後 [7·7]

[問題3] 20点

